※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「詳述歴史総合」　（実教出版）						
副教材等	明解歴史総合図説シンフォニア最新版（帝国書院） 詳述歴史総合マイノート(実教出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代はグローバルな世界といわれる。様々な出来事が地球規模で連関しあい、現代世界が動いている。しかし、かつて近代以前の世界は、そうではなかった。世界規模の交通・通信・経済が発達する中で、どのようにして私たちを取り巻くグローバルな世界が生まれてきたのか、それを理解することは、現代を生きてゆく君たちの導きの糸になるはずである。そのために、必要な講義も行うが、関連史料の輪読や視聴覚資料をふまえた討論、そしてグループワークに比重を置いた積極的な学習を求めたい。随時、グループ発表など通じた相互批評セッションなど、主体的な学習参加を求めることになる。レポート提出や定期考査も実施するが、上記したような主体的な学習参加を生徒のみなさんに期待したい。

２　学習の到達目標

知識及び技能：対象とする史資料を十分に理解し、評価できる能力を獲得すること
思考力、判断力、表現力等：近代以降のグローバル化を単なる地域史の寄せ集めではなく、互いに連関する近代地球史として、その発展を理解できる。また、近代世界の形成をただ単に光の側面のみでとらえるのではなく、植民地支配や戦争・公害など人類に深刻な被害をもたらした影の面でもとらえる多面的理解ができる。
学びに向かう力、人間性等：学んだ知識をもとにして、自己の見解を作ることができ、グループ討論を通じて他者の見解を取り入れて、総合的な見方ができるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ａ１：各時代の歴史的な基礎的知識が整理されているかどうか。 ａ２：各時代の史資料を的確に読み取り、理解できているかどうか。 ａ３：討論内容を的確にとりまとめ、他者に対し、より理解しやすい形で内容を提示できているか。	ｂ１：各時代に生起した事象を、前後の時代と比較し、通時的に理解できているか。 ｂ２：各時代に生起した事象どうしの世界史的連関を共時的構造的に理解できているか。 ｂ３：各時代の歴史現象をどのようにデータ化し、それを処理して、分かりやすく提示・表現できているか。	ｃ１：グループ討論を通じて、自己の見解を論理的に打ち出せているか。 ｃ２：グループ討論や発表を通じて、他者の見解を自己の見解にどのように取り入れているか。 ｃ３：与えられた素材だけでなく、新しい史資料を見出し提示して、グループ学習に新しい論点を提起できているかどうか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	(1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料	a: 日常生活の身近な諸事象が周辺諸国や世界史の流れと連関していることを理解できている。 b: グローバル化など現代世界の歴史的変化が世界諸地域の連関の脈絡で理解され、表現できている。 c: 歴史総合を学ぶ意義・目的・方法について理解を深める姿勢がみられる。	定期考査 レポート	レポート	振り返りシート
	近代化と私たち	(1) 近代化への問い (2) 欧米の市民革命と国民国家の形成	a: 近代国民国家の形成に関する諸資料から情報を読み取り、まとめる技能を獲得できている。18～19 世紀のアジアと欧米諸国の経済・社会を立憲体制と国民国家の形成の文脈で理解できている。 b:18～19 世紀のアジア諸国と欧米諸国の相互関係に着目し、両者の影響関係などその連関を分析、考察して表現できている。 c:18～19 世紀のアジアと欧米諸国との諸関係とその歴史的帰結を積極的に学び、これからのより良い世界を展望しようとする態度を身につけている。	定期考査 レポート	レポート	振り返りシート
2学期		(3) アジアの変容と日本の近代化 (4) 帝国主義の時代	a:日本の近代化過程の理解を基礎に、19 世紀の欧米諸国の動向と関連付けて、日本の立憲体制の形成を理解している。また欧米列強のアジア進出とそれによるアジア諸国の変容を理解している。 b:18 世紀近代アジア貿易の形成とともに、欧米列強による帝国主義政策の形成と、それによるアジアと欧米列強との関係変容を多面的・連関的に考察し表現できている。 c:19 世紀以降の帝国主義政策の展開によって変容した世界のしくみに学び、より良い世界の実現を求めて、主体的に課題設定を行い問題解決を模索する態度を養う。	定期考査 レポート	レポート 発表	振り返りシート 発表
	国際秩序の変化や大衆化	(5) 第一次世界大戦と大衆社会	a:二つの世界大戦を通じて生み出された国際関係の緊密化や植民地独立、米ソの台頭と冷戦体制の世界について、多面的な資料から情報を読み取り、まとめる力を身につけている。 b:二つの世界大戦を通じて生み出された国際秩序の変化や生活の変容について、考	定期考査 レポート	レポート 発表	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		(6) 経済危機と第二次世界大戦	察を深め、課題を発見してそれを表現できている。 c：二つの世界大戦を通じて生み出された世界の変容に興味・関心をもち、諸資料から読み取れた情報の相互関係や影響関係から、自分なりの論点や課題解決をもとめる姿勢がみられる。			
3 学 期	グローバル化と私たち	(7) 冷戦と脱植民地化 (8) 多極化する世界 (9) グローバル化と現代世界	a：冷戦とその後のグローバル化した世界の諸様相を学ぶことで、現代に直接つながる諸資料を読み解き、まとめたりする技能を身につけている。 b：冷戦とその後のグローバル化世界に関する多面的な資料を活用して、現代に直結するグローバル化にともなう生活や社会変容について考察し、課題を表現できている。 c：冷戦とその後のグローバル化にともなう諸資料を多面的に考察し、その中から興味を持ったこと、疑問や追求したい課題を主体的に見いだそうとしている。	定期考査 レポート	レポート 発表	振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度